

平成 26 年 6 月 24 日現在

機関番号：28001

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2013

課題番号：23520179

研究課題名(和文)鎌倉芳太郎資料画像総合データベースにもとづく発展的研究

研究課題名(英文)Advanced Research based on the Image Database of Kamakura Yoshitaro's Material

研究代表者

波照間 永吉(HATERUMA, EIKICHI)

沖縄県立芸術大学・付置研究所・教授

研究者番号：30189576

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 4,000,000円、(間接経費) 1,200,000円

研究成果の概要(和文)：平成23年度～25年度の研究期間内において、鎌倉芳太郎ノート全82冊の撮影とデジタルデータ化を完了した。また、紅型型紙資料の赤外線撮影を完了した。これらの成果に基づいて鎌倉芳太郎資料の公開用ホームページ編集作業を進めた。その内訳は、刊行済みノートのオリジナル写真4371点、鎌倉芳太郎撮影写真1113点、紅型型紙1414点である。これらに基づいて検索機能付き公開用ホームページを作成、公開した。またこれらの成果の一部を『鎌倉芳太郎資料「文書資料」目録』として刊行した。

研究成果の概要(英文)：Through the period of 2011-2013, I have completed photographing and digitizing of 81 Notes of Kamakura Yoshitaro, as well as infrared photographing of bingata paper patterns. Based on the data collection, I established and edited the Internet website to post Kamakura Yoshitaro material. It includes 4,371 original photographs of his published notes, 1,113 photographs he took, and 1,414 bingata paper patterns. I opened the website with a search engine. In addition, a part of the data collection was published as Kamakura Yoshitaro Material Document List.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：芸術学・芸術史・芸術一般

キーワード：画像 データベース 鎌倉芳太郎

1. 研究開始当初の背景

人間国宝(重要無形文化財保持者)指定の紅型作家として著名な鎌倉芳太郎(1898-1983)は、大正後期から昭和初期にかけて膨大な量の沖縄関係資料を収集した。その分野は専門の染織を中心とした工芸から、美術、建築関係、さらに文学、芸能、民俗と多岐にわたっている。これらの資料は「鎌倉芳太郎資料」の名で、現在沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館が所蔵している。これらは大きく1.文献資料(ノート、収集文書・原稿・文献その他目録)2.写真資料、3.紅型型紙資料の三種に分類される。

この鎌倉資料のうちの写真資料(附鎌倉ノート)が、「琉球芸術調査写真」(一、ガラス原板 二、紙焼付写真 附調査記録八十一冊)として平成17年に国の重要文化財の指定を受けた。このように鎌倉芳太郎資料は、琉球・沖縄文化の幅広い領域に関する戦前期の貴重な資料として、沖縄文化研究の世界にとどまらず、沖縄県民、日本国民にとって重要な価値を有するものだという認識が広まっている。

本研究の研究代表者、分担者全員が所属する沖縄県立芸術大学附属研究所では、1997年より鎌倉芳太郎資料の調査整理事業に取り組んできている。その成果として、これまでに『沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵 鎌倉芳太郎資料目録』(沖縄県立芸術大学附属研究所、1998年)、『鎌倉芳太郎資料集第一巻 紅型型紙(一)』(同上、2002年)、『鎌倉芳太郎資料集第二巻 紅型型紙(二)』(同上、2003年)、『鎌倉芳太郎資料集 ノート篇I 美術工芸』(同上、2004年)、『鎌倉芳太郎資料集 ノート篇II 民俗・宗教』(同上、2006年)を刊行してきている。また、2007年度から4年間、「鎌倉芳太郎資料の画像データベース構築・公開とその応用的研究」として科学研究費補助金(基盤研究(B))研究代表者:波照間永吉)の助成を受け、鎌倉芳太郎資料デジタル画像データベースの構築に取り組んできた。

2. 研究の目的

本研究は、これまでの研究過程で構築しつつある画像データベースをさらに整備拡張して、沖縄文化の諸領域の研究者や、沖縄文化に関心を寄せる沖縄県民および国民の利用に供することを目的とする。さらに構築中の総合画像データベースをより広範囲の研究に活用し、これまで以上の琉球文化研究への活用の方途を探ろうとするものである。楚のために以下の三点を研究目的とした。

- 1) 鎌倉芳太郎ノート資料の画像データ化完遂とデータベース整備
- 2) 鎌倉芳太郎紅型型紙の赤外線撮影データの解析とデータベース整備
- 3) 鎌倉芳太郎新資料の調査・整理と総合画像データベースの完成

3. 研究の方法

本研究は、具体的な調査研究を推進するために、全体組織をデータベース構築班(柳、久万田)、鎌倉ノート班(波照間、波平)、型紙解析班(柳)の三班に分け、互いに緊密な連携をとりながら研究を実施した。

[鎌倉ノート班]

鎌倉芳太郎ノート全82冊についての写真撮影、索引作成とデジタルデータ化を進めた。また型紙解析班と協力して、紅型裂の画像データの編集加工作業を行った。

[型紙解析班]

鎌倉芳太郎資料の紅型型紙資料の赤外線撮影を進め、裂資料の再調査、資料名称の決定、使用色の抽出等の作業を行った。それと平行して裂資料の再調査、資料名称の決定、使用色の抽出を行った。そしてデータの画像処理を行いながら文字解析作業を進めた。

[データベース構築班]

これまでに試験的に公開した鎌倉資料画像データベースの運用を行うと同時に、鎌倉ノート班、型紙解析班の研究成果を盛り込んだ鎌倉芳太郎資料公開用ホームページの編集作業と公開用ホームページの作成を行った。

4. 研究成果

平成23年度~25年度の研究期間内において、以下のような成果が得られた。

[鎌倉ノート班] 鎌倉芳太郎ノート全82冊の撮影とデジタルデータ化を完了した。それと同時に『鎌倉芳太郎資料「文書資料」目録』刊行のためのデータを準備作成した。

[型紙解析班] 紅型型紙資料の赤外線撮影を完了した。

[データベース構築班] 上記の成果に基づいて鎌倉芳太郎資料の公開用ホームページ用データ編集作業を進めた。内訳は、刊行済みノートのオリジナル写真4371点、鎌倉芳太郎撮影写真1113点、紅型型紙1414点である。これに基づいて検索機能付き公開用ホームページを作成、公開した。またこれらの成果の一部を『鎌倉芳太郎資料「文書資料」目録』として刊行した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計13件)

柳悦州、Modernization of Japan Integrate the East and the West、The 1st International Conference and Exhibition 2011、査読無、2011、2-10

波平八郎、俳句の理念—『高悟帰俗』、2011彫刻五・七・五(国際芸術大学交流展)(国立臺北藝術大學美術學院)、査読無、2011、22-36

波照間永吉、歌謡にみる古琉球の航海と祭祀、琉球・沖縄の芸能-その継承と世界へ拓く研究(彩流社)、査読無、2012、227-262

波照間永吉、名護市のオモロ、芸能・名護市史本編 8 資料篇、査読無、2012、423-440

波照間永吉、久志地区の芸能の概要、芸能・名護市史本編 8 資料篇、査読無、2012、605-630

波照間永吉、古琉球のチジウリ、奄美沖縄文芸学、査読無、11号、2012、90-97

柳悦州、日本民藝館展講評、民藝、査読無、710号、2012、18-19

久万田晋、沖縄の民俗芸能の分類、民俗音楽研究、査読無、37号、2012、40-47

久万田晋、<巻頭言>宮古島クイチャーの新展開、奄美沖縄民間文芸学、査読無、11号、2012、1-2

久万田晋、近現代沖縄におけるポピュラー音楽の展開、歴博、査読無、NO.175、2012、12-15

波照間永吉、歴史の記憶装置としての『史歌』論序説、ワセダアジアレビュー、査読無、13、2013、1-2

波照間永吉、『世ば稔れ』考(上)、沖縄文化、査読有、114、2013、86-104

久万田晋、沖縄音楽を俯瞰する、多文化社会の文化的市民権、査読無、1、2014、97-101

〔学会発表〕(計 8 件)

波照間永吉、鎌倉芳太郎の調査ノートについて、沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館“沖縄文化の父、鎌倉芳太郎が見た戦前の沖縄”特別講演会、2011年10月30日、沖縄県立芸術大学

柳悦州、沖縄の紅型型紙、沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館“沖縄文化の父鎌倉芳太郎が見た戦前の沖縄”特別講演会、2011年10月29日、沖縄県立芸術大学

波照間永吉、鎌倉芳太郎と沖縄-鎌倉芳太郎の琉球芸術調査-、首里公民館講座、2012年10月14日、首里公民館

波照間永吉、『おもろさうし』と神歌主取、那覇文化協会王府おもろ伝承百年-講演と実演-、2012年12月12日、沖縄県立博物館・美術館

久万田晋、沖縄芸能・音楽研究の半世紀と今

後の課題、シンポジウム沖縄学を問い直す-過去・現在・未来へ-、2012年8月11日、沖縄県立博物館・美術館

久万田晋、歴史をたどるエイサー、世界エイサー大会・エイサー大学~オープンキャンパス(招待講演)、2013年10月6日、国立劇場おきなわ

柳悦州、世界の絃・沖縄の絃、沖縄県立博物館・美術館文化講座(招待講演)、2013年10月19日、沖縄県立博物館・美術館

波照間永吉、沖縄文化に鎌倉芳太郎が果たした役割、高松市民大学(招待講演)、2013年10月26日、高松市生涯学習センター

〔図書〕(計 4 件)

波照間永吉(共編)、南山舎、竹富方言辞典、2011、1560

波照間永吉(共編)、国立劇場おきなわ、琉球・沖縄芸能史年表、2011、1290

波照間永吉(監修・編集・執筆)、沖縄の古謡、沖縄県文化振興会、2012、CD全8巻

沖縄県立芸術大学附属研究所、沖縄県立芸術大学附属研究所、鎌倉芳太郎資料『文書資料』目録、2014、78

〔産業財産権〕
出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等
鎌倉芳太郎資料
<http://www.ken.okigei.ac.jp/kamakura/index.php>

6. 研究組織

(1)研究代表者

波照間 永吉 (HATERUMA EIKICHI)

沖縄県立芸術大学・付置研究所・所長 (教授)

研究者番号：301895756

(2)研究分担者

久万田 晋 (KUMADA SUSUMU)

沖縄県立芸術大学・付置研究所・教授

研究者番号：30215024

波平 一郎 (NAMIHIRA HACHIRO)

沖縄県立芸術大学・美術工芸学部・教授

研究者番号：40279427

柳 悦州 (YANAGI YOSHIKUNI)

沖縄県立芸術大学・付置研究所・教授

研究者番号：70200532

(3)連携研究者

()

研究者番号：